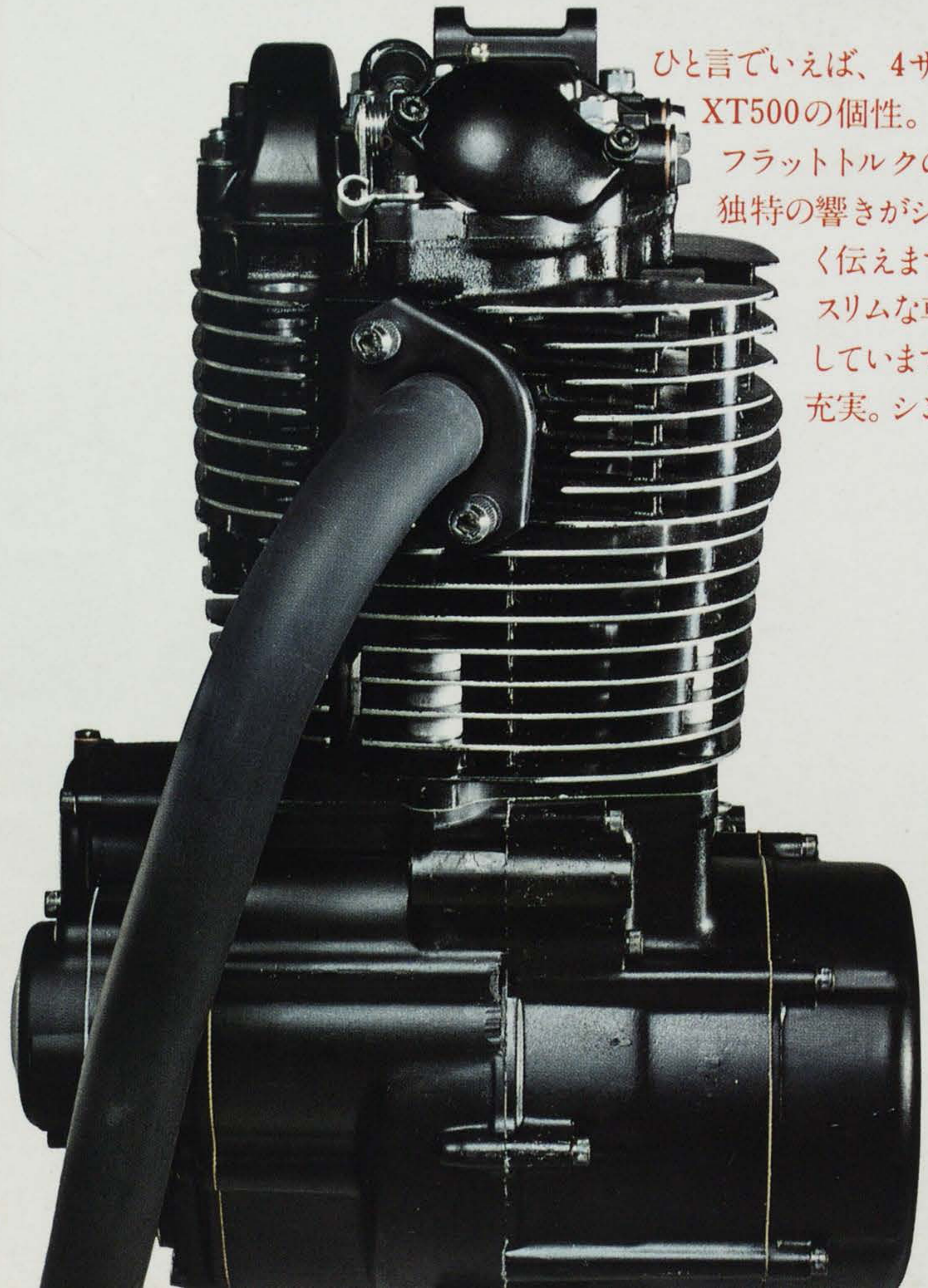


# XT500



ひと言でいえば、4サイクルビッグシングルのパワーユニットこそ、XT500の個性。低速から高速までなめらかに吹き上がるフラットトルクの扱いやすさ、そして心の奥底を揺さぶる独特の響きがシングルならではの深い味わいをあますことなく伝えます。さらに、500とは思えないほどの軽量、スリムな車体が、乗りやすく安定した走行性を実現しています。もちろん騒音対策、排気対策、安全対策も充実。シングルファン待望の本格的なビッグマシンです。



★ブリックレッド

**4サイクル  
ビッグシングルエンジン**

XT500に搭載のエンジンは499cc SOHC 4サイクルのシングル。低速域から高速域までフラットなトルク特性を持つ、粘り強さが特徴。500としては驚くほどコンパクトにまとめ上げられた、ヤマハ技術の結晶ともいえる最新エンジンです。給油方式はドライサンプ。オイルパンのない構造がロードクリアランスの大きいスリムな車体をつくっています。始動はデコンプレッサーを操作してキック。ビッグなのに軽くスタートできるうえ、走行中はエンジンブレーキを作動させることもできる装置です。安全性のためには、スロットルバルブの開き放しを防止する強制閉閉式キャブレターを採用。さらにプロバイガス還元装置で排出ガスの浄化をはかっています。独自の主張を持ったビッグシングルXT500の心臓部としてふさわしい充実した設計です。

**最適ギヤ比の  
リターン式5段ミッション**

3.9kg-mのトルク、30馬力の出力をフルに生かすミッションは1ダウン4アップのリターン式5段変速。どんな走行パターンにもマッチするギヤ比設定です。エンデュロだからこそ、ビッグシングル

だからこそ、入念に検討されたミッションです。**すみずみにまで軽量化の配慮**コンパクトなエンジンはもちろん、クラシクケースを守るカバーもマグネシウム合金製と、徹底して軽量化を追求しました。特に、下重量の軽減のために、コニカルハブ、アルミ製のリムを採用。軽く、乗りやすくという設計理念がここにも生きています。**定評あるセミダブルクレードルフレーム**剛性が高く、しかも軽量。苛酷な使用に耐え、強大なトルクに耐える頑丈さです。定評のセミダブルクレードル型のパイプフレームを採用。本格的ビッグシングルにふさわしい、信頼のおけるフレームです。

**オイルタンクイン  
フレームの採用**

ロードクリアランスを高めるドライサンプ方式。車体をコンパクトにという設計思想は、オイルタンクをフレームの中に入れてしまうという徹底ぶりによくあらわれています。フレームのメインチューブとダウンチューブの中を2.3ℓのオイルタンクとして活用。トロコイドポンプでエンジンに給油されます。**中低速重視のコンパクトなマフラー**マフラーの形をごらんください。上行部分とテールで、一次、二次に分割されて

てしまうという徹底ぶりによくあらわれています。フレームのメインチューブとダウンチューブの中を2.3ℓのオイルタンクとして活用。トロコイドポンプでエンジンに給油されます。**中低速重視のコンパクトなマフラー**マフラーの形をごらんください。上行部分とテールで、一次、二次に分割されて

トルクをフルに発揮させるマフラーです。もちろん、ライダーの足に触れることもなく、しっとりとしたライディングポジションが得られます。**前傾倒立型リヤクッションはガス封入式**ヤマハの先進技

術が走行安定性、操縦性のよさに生きています。剛性の高いフロントフォークはロングストローク195mmのセリアーニ式。36φの大径インナーチューブを採用。リヤクッションは前傾配置で

145mmのストローク長を持っています。さらに倒立で、下重量を軽減し、窒素ガス封入でラフロード走行性を一段と高めたサスペンションです。この方式によりコーナーからのみごとな立ち上りや直進安定性などの操縦性のよさのほか、エンデュロとしての欠かせない連続走行時の耐久性を得ています。長時間走っても疲れな心持ち、走り性能を、ぜひお試しください。

**瞬時に読み取れる新設計のメーター**45°の角度を持たせたセパレートメーターは、ライダーの目の動きを知っているかのようです。前方から注意をそらす時間をできるだけ短かく。必要なデータを瞬のうちに読み取れる見やすさへの配慮です。ライダーの目の前に新型スピードメーター、タコメーター、車速が80km/h以上になると点灯する速度警告灯、フラッシュャーパイロットランプ、ハイビームインジケーターランプ、ニュートラルランプが整然と配置されています。

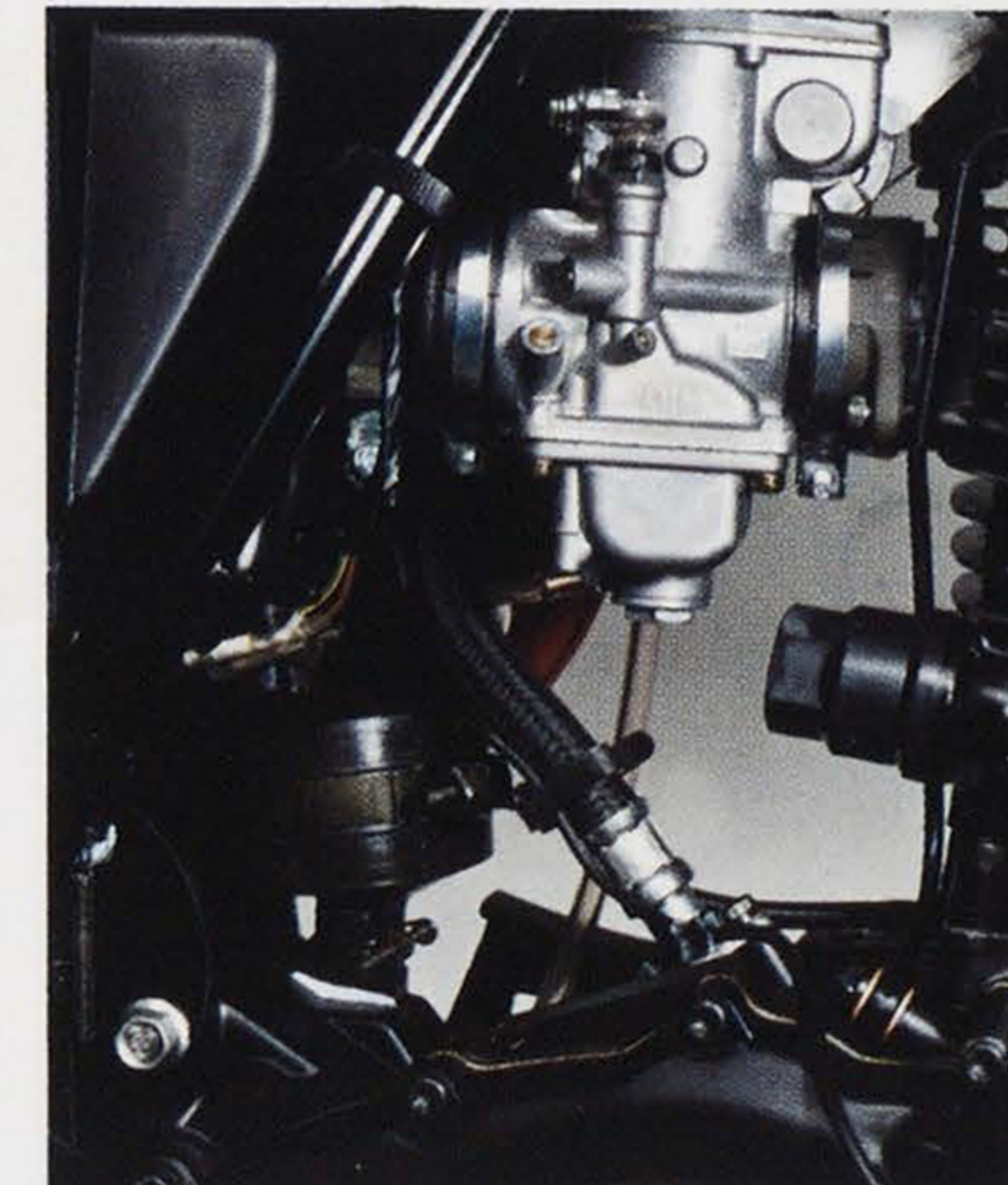
**扱いやすくとめられたスイッチ類**握りやすい軟質ゴムのグリップの近くには、左にヘッドライト点灯スイッチ、ビーム切

換えスイッチフラッシュャースイッチ、ホンボタン、デコンプレッサーが、右にキルスイッチがコンパクトにまとめられています。いちいち目場所を確認したり、グリップを大きく握り直す必要もありません。正しい操作のための行き届いた配慮です。

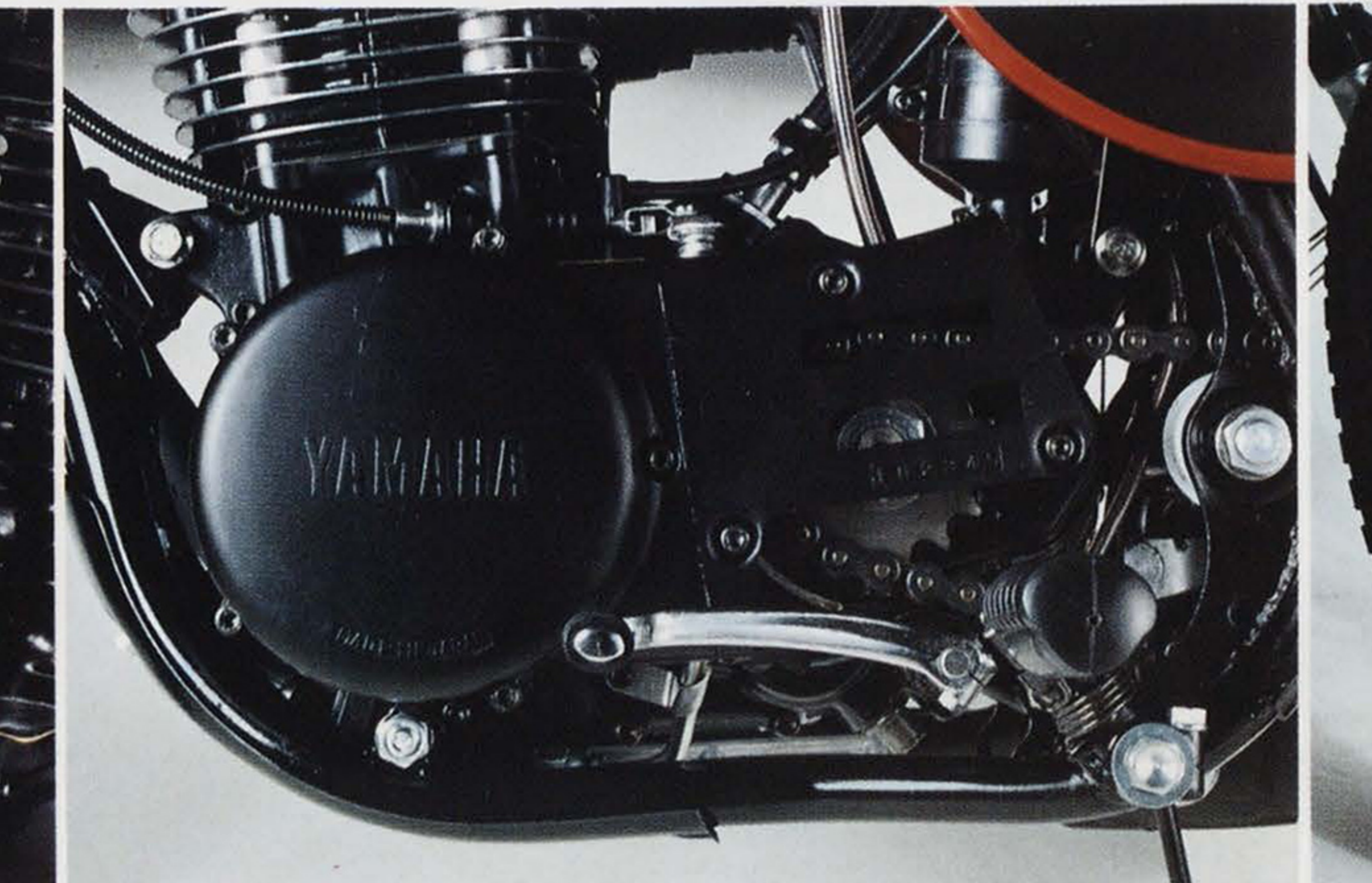
**視認性にすぐれた大型ライト類**35W/35Wの明るいヘッドライトは夜間の山間走行にも充分な配光性と収束度を持っています。テールランプは5.3W、ストップランプは17Wと大型。サイドリフレクターも明るく、安全のための視認性を重視した設計です。

真のモーターサイクリストたちにおくるビッグシングルの名に恥じない充実ぶりを見せるXT500。乾燥重量139kgと軽く、スリムな車体、長距離走行も安心な乗りやすさと耐久性、排気対策、安全対策と、ヤマハの設計思想がみごとに結実しています。スリムで厚いシートは疲れを知らないライディングポジション。ハンドルダンパーやエンジンマウントダンパーなど、防振対策も行き届いています。そのうえ燃費も43km/ℓ(60km/h定地走行テスト値)と経済的。まさに、「どこへも行ける」デュアルバースマシンの真骨頂です。

プロバイガス還元装置&キャブレター



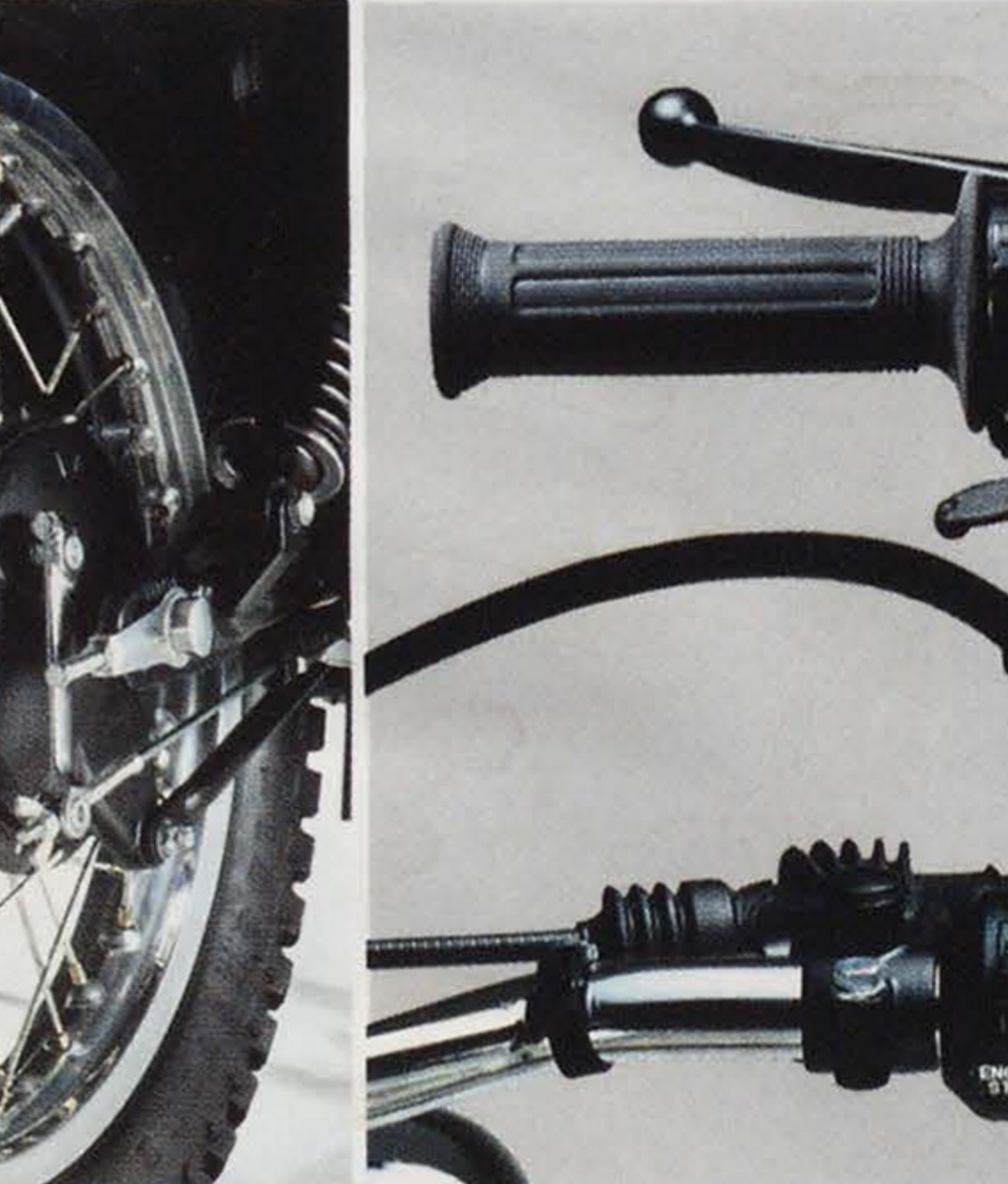
リターン式5段ミッション



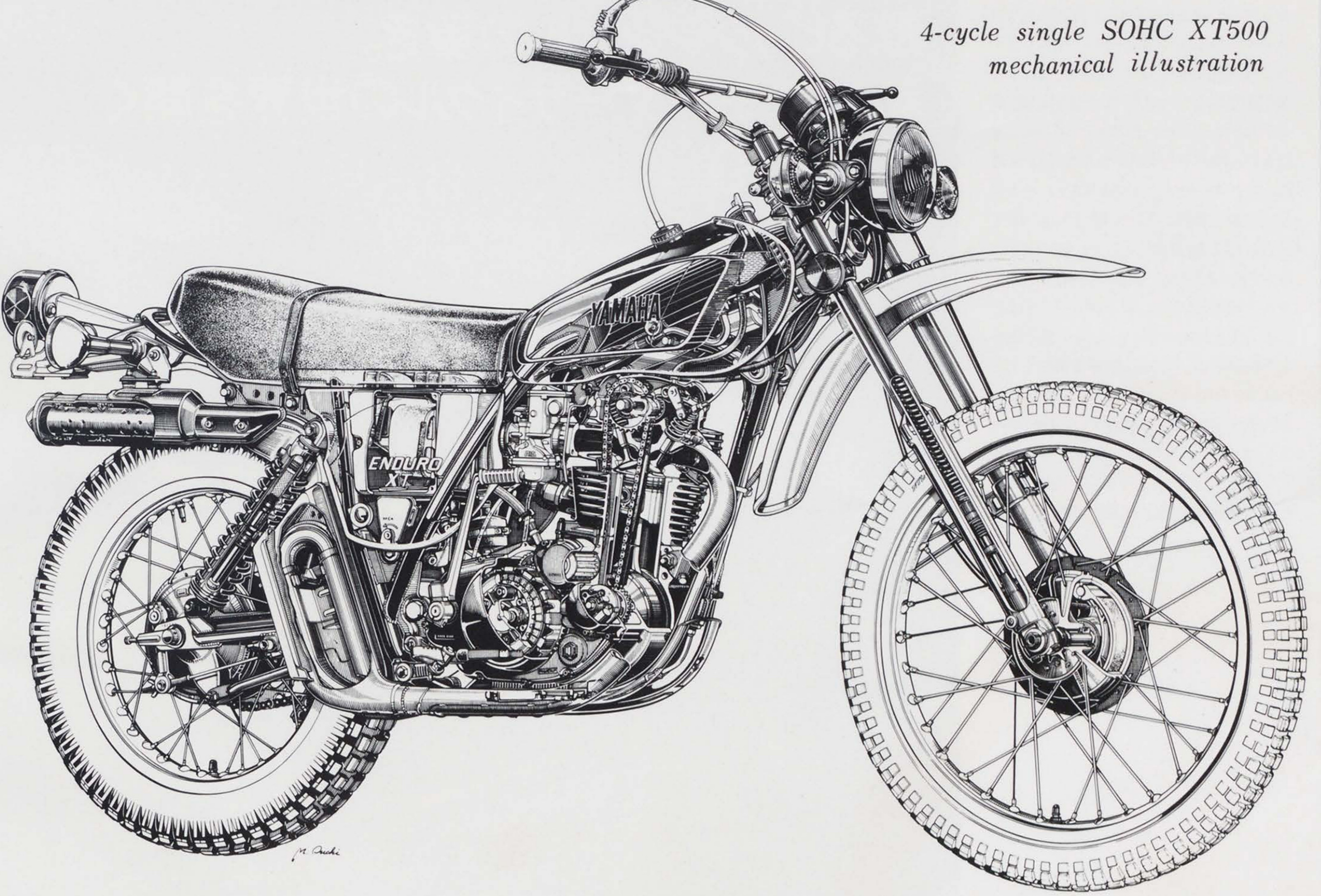
フロントコニカルハブ



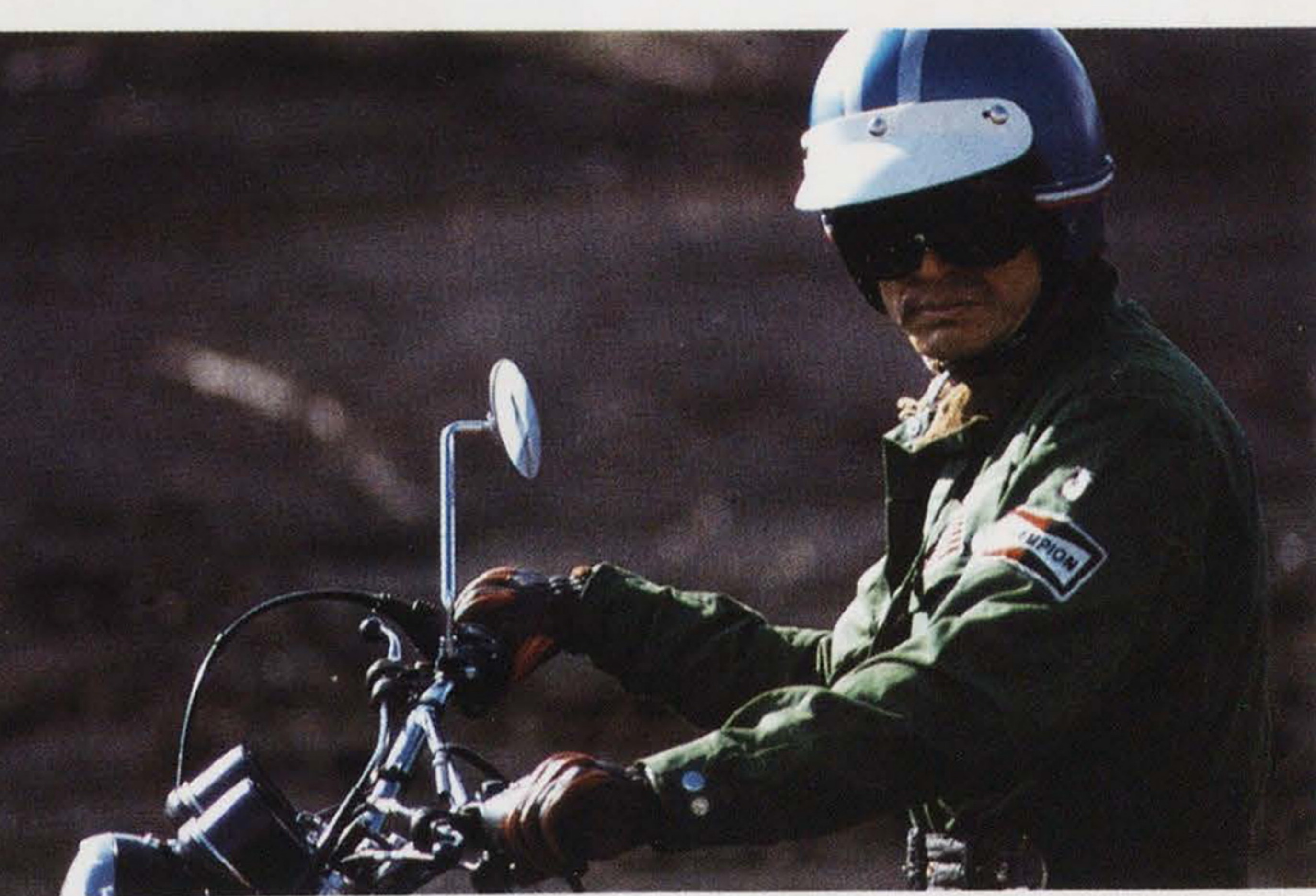
前傾倒立型リヤクッション/ガス封入式



ハンドルスイッチ



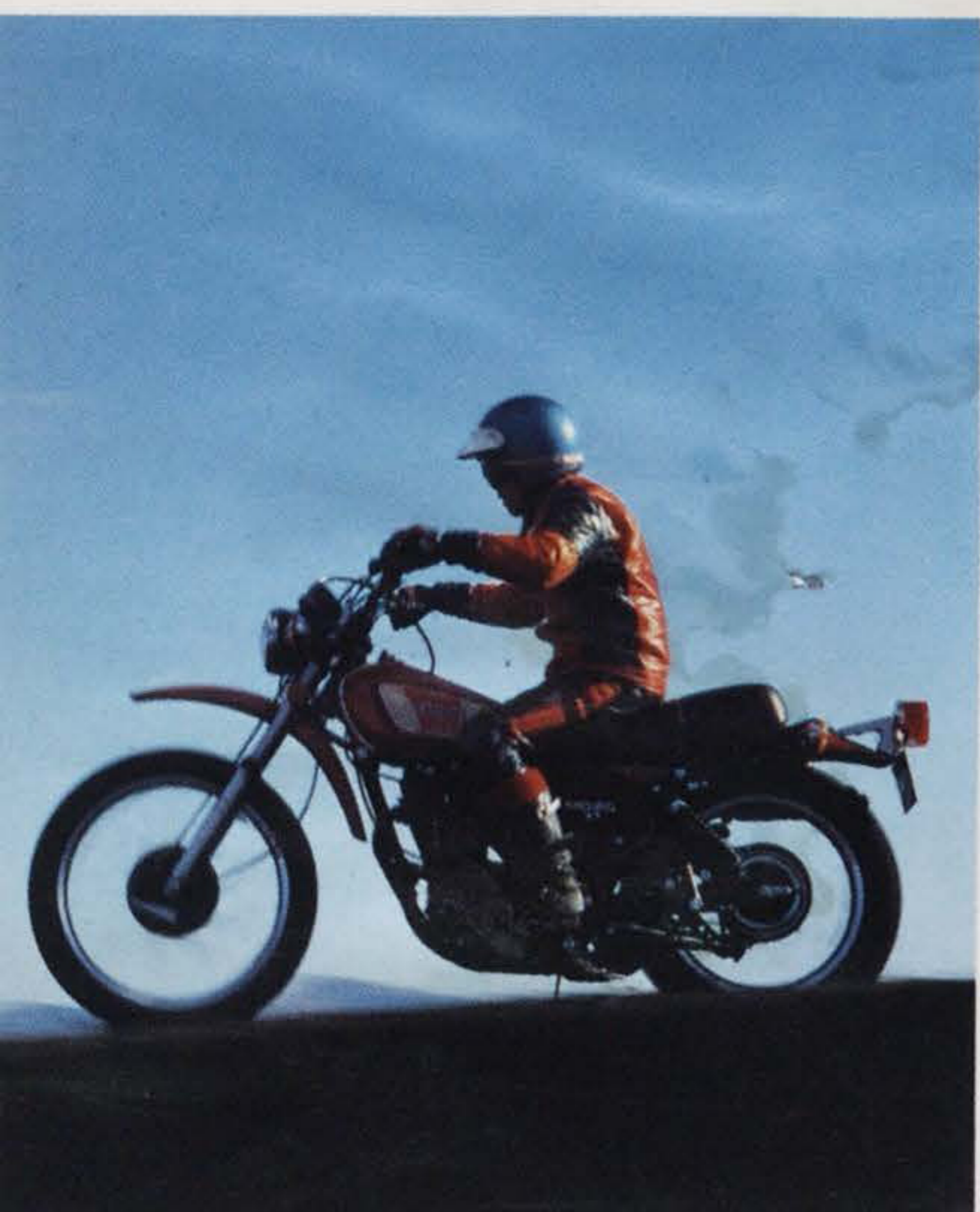
4-cycle single SOHC XT500  
mechanical illustration



# 甦るビッグシングルの響き。 新たなモーターサイクルの世界を開く XT500。

モトクロスともトライアルとも違う雄大なスケールの競技エンデューロレース。アメリカの大自然の中ではぐくまれた、このうえなく男性的なレースです。いわば自動車のアルペンラリー、サファリラリーのようなもの。モーターサイクルだからより苛酷。モーターサイクルだからよりワイルドな大自然との戦いといえましょう。遠く果てしない山の彼方まで人とマシンが一体になって走り続ける。まさにモーターサイクルの醍醐味です。エンデューロとはそこから生まれたマシン。大地が続く限り走り続けたい。そんな欲望を満たしてくれるおとなのマシンです。ひたすらモーターサイクルの世界を愛する、真のモーターサイクリストたちに、いまヤマハがおくります。これは人とマシンと大自然との心の交流。新たなふれあいの提案です。





全長/全巾/全高	2170mm/875mm/1180mm
軸間距離/乾燥重量	1420mm/139kg
シート高/最低地上高	835mm/215mm
舗装平坦路燃費	43km/ℓ (60km/h)
登坂能力/最小回転半径	35°/2200mm
制動停止距離	14m/(50km/h)
エンジン種類	4サイクル・空冷・ガソリン・SOHC
気筒数配列/総排気量	単気筒・前傾/499cc
内径×行程/圧縮比	87mm×84mm/8.3
最高出力	30ps/5800rpm
最大トルク	3.9kg-m/5400rpm
始動方式	キック(デコンプ付)
点火方式	マグネトー
燃料タンク容量	8.8ℓ
エンジンオイル容量	2.2ℓ(オイルタンクインフレーム)
潤滑方式	強制圧送ドライサンプ
バッテリー容量/型式	6V-6AH/6N6-3B
1次減速機構/減速比	ギヤ/2.566(77/30)
2次減速機構/減速比	チェーン/2.750(44/16)
クラッチ形式	湿式多板
変速機形式	リターン式5段
変速比	2.357/1.555/1.190/0.916/0.777
フレーム形式	高張力鋼管セミダブルクレードル
キャスト/トレール	59°30'/135mm
タイヤサイズ・前/後	3.00-21-4PR/4.00-18-4PR
制動装置・前後	機械式ドラムブレーキ
緩衝装置・前	スプリング内蔵式オイルダンパーコイルスプリング
後	ガス封入式オイルダンパーコイルスプリング

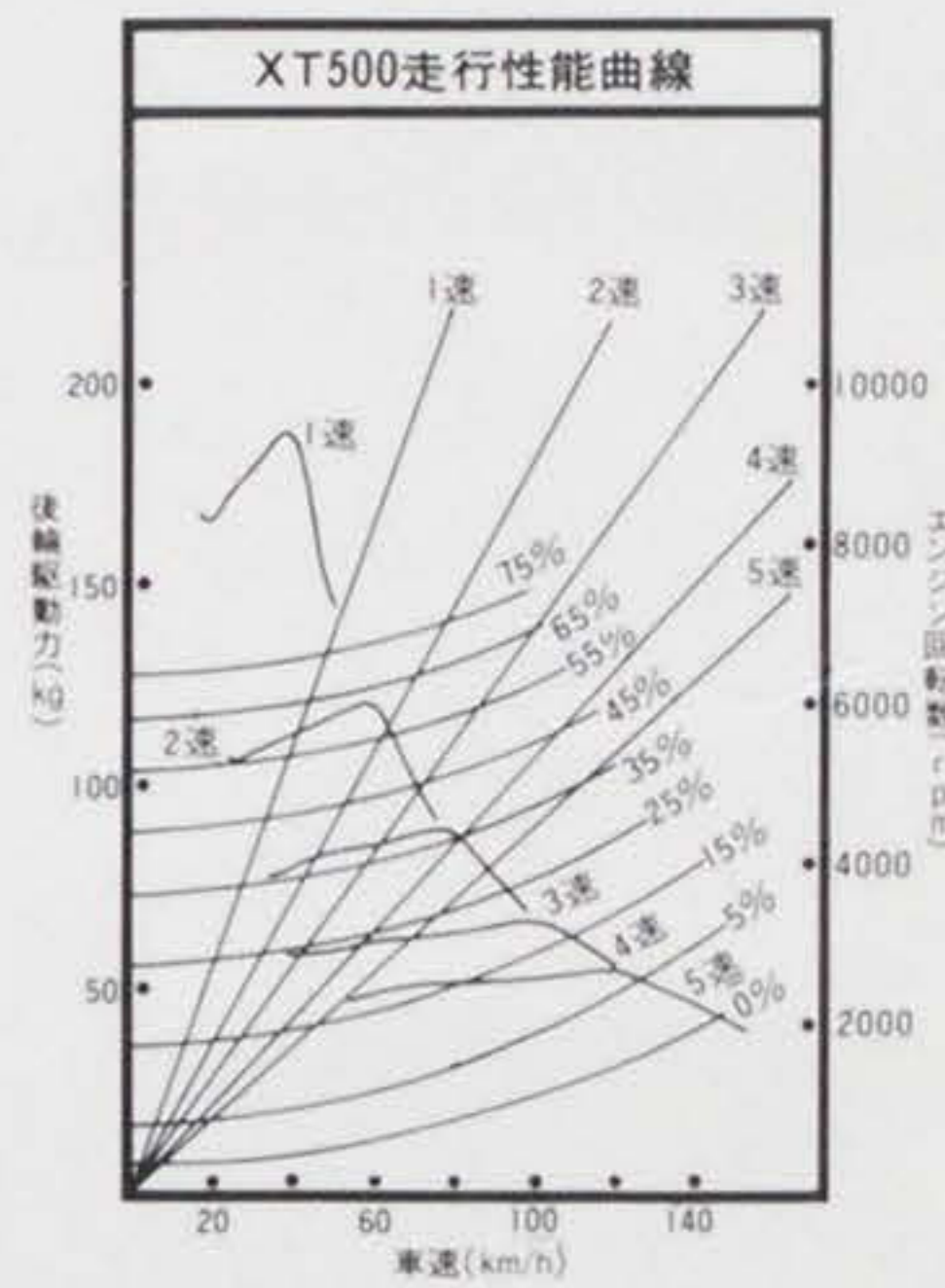
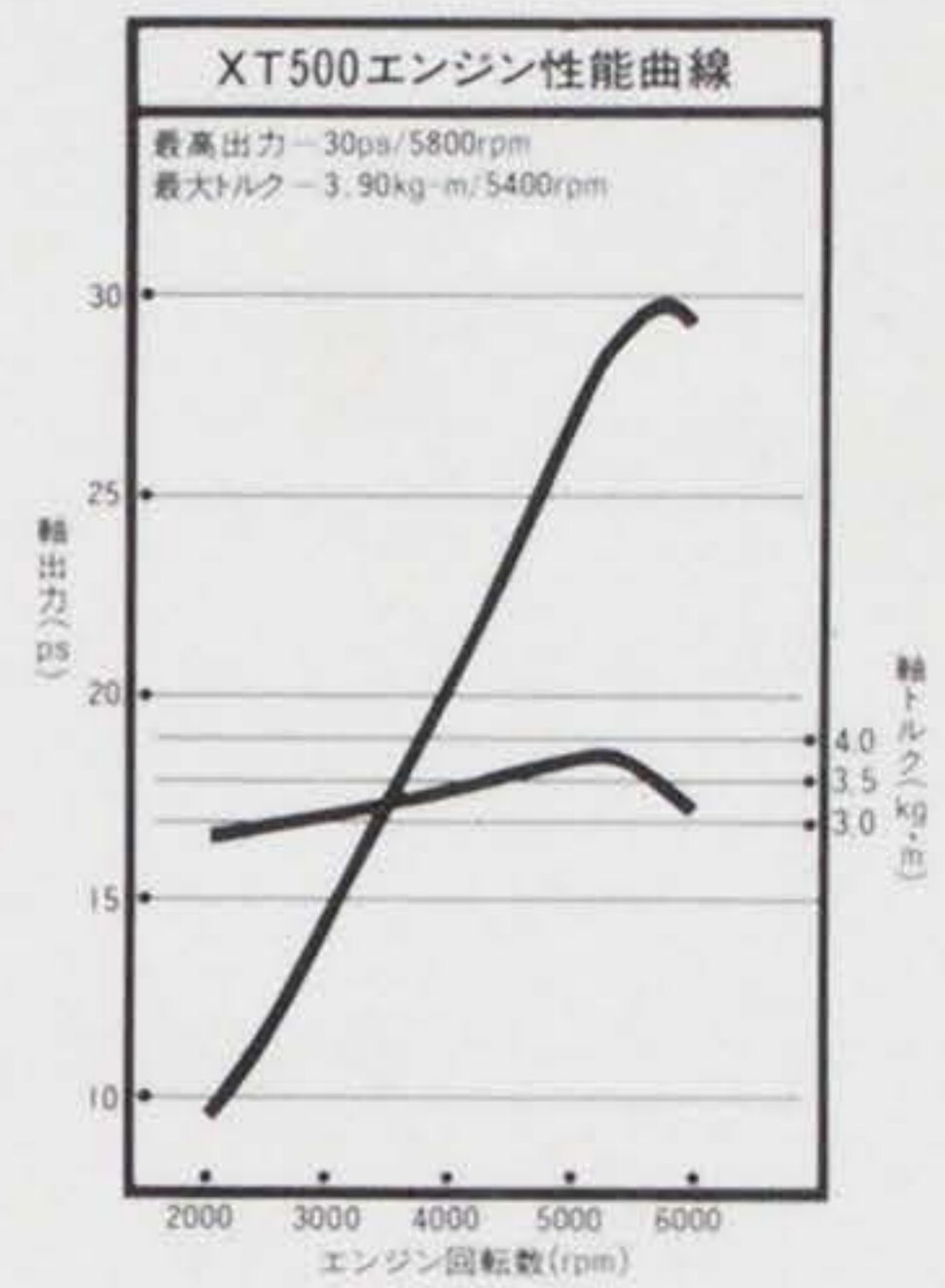
●本仕様は予告なく変更することがあります。●走行後のマフラーに触れないよう注意しましょう。

**手続きかんたん**

**支払いらくらく**

**ヤマハ  
らくらくクレジット**

新しいバイクの買い方です。簡単な手続きとわずかな頭金(25%)があれば最長20回までの分割払いでお好みのバイクがすぐ手に入るしくみ。月々の支払い方法もお好み次第、幾通りものコースから自由を選べる便利です。



ヤマハ発動機株式会社 ④438静岡県磐田市新貝2500 TEL.05383(2)1111 支店:札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・高松・福岡



マナーを守って さわやかバイク ヘルメットをかぶろう 定期点検をうけよう